

山口大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

当院では、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の問合せ先までお申出ください。

その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

① 研究課題名	心房細動アブレーション後の腎機能推移とベースライン蛋白尿との関連に関する後ろ向き観察研究			
② 実施予定期間	実施許可日から 2028 年 3 月 31 日			
③ 対象患者	対象期間中に山口大学医学部附属病院第二内科で心房細動に対するカテーテルアブレーション治療を始めて受けられた 18 歳以上の患者さんのうち、さらに治療後 1 年以内および治療後 4 年以上腎機能検査を行った患者さん。			
④ 対象期間	2011 年 11 月 1 日から 2021 年 4 月 30 日まで 追跡期間：実施許可日までの情報を収集します。			
⑤ 研究機関の名称	山口大学医学部附属病院			
⑥ 対象診療科	第二内科			
⑦ 研究責任者	氏名	石口博智	所属	山口大学医学部附属病院 第二内科
⑧ 使用する情報等	症例プロフィール（アブレーション施行日における年齢、性別、身長、体重、心房細動の種類等）、病態像（基礎疾患、使用薬剤等）、検査項目（尿検査、血液生化学検査、心電図、心エコー所見等）、治療の詳細データ（カテーテルアブレーションの方法等）、予後データ（不整脈の再発、腎機能の推移、腎代替療法導入、心血管イベント等）			
⑨ 研究の概要	心房細動に対するカテーテルアブレーション後には、腎機能が短期的に改善する場合がある一方で、長期的な腎機能の推移は患者さんの背景により異なる可能性があります。本研究では、通常診療で行われた尿試験紙検査による蛋白尿の有無に着目し、心房細動アブレーション後の短期および長期の腎機能推移を後ろ向きに検討します。特に、治療前に蛋白尿を認めた患者さんと認めなかった患者さんで、その後の腎機能の変化に違いがあるかを調べます。特に、治療前に蛋白尿を認めた患者さんと認めなかった患者さんで、その後の腎機能の変化に違いがあるかを調べます。ここでの変化とは、短期的（治療後 1 年以内）と長期的（4 年以上）の両方を評価します。本研究の結果は、治療後により注意深い腎機能の経過観察を要する患者さんを把握するための参考となる可能性があります。 収集するデータは特定の個人が識別できないように加工を行い、氏名など個人を特定できる情報を削除したうえで、当院で適切に管理します。本研究は診療録に記録された既存情報のみを用いる研究であり、新たな検査や			

	治療、試料の採取は行いません。			
⑩ 実施許可	研究の実施許可日	2026 年 7 月 14 日		
⑪ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。 詳細な方法に関しては以下の問い合わせ先にご連絡ください。			
⑫ 結果の公表	学会や論文等で公表します。			
⑬ 個人情報の保護	結果を公表する場合、個人が特定されることはありません。			
⑭ 知的財産権	山口大学に帰属します。			
⑮ 研究の資金源	山口大学医学部附属病院の第二内科の奨学寄附金			
⑯ 利益相反	ありません。			
⑰ 問い合わせ先・相談窓口	山口大学医学部附属病院 第二内科 担当者：石口 博智			
	電話	0836-22-2248	FAX	0836-22-2246